

2021年度事業報告書

(2021年4月1日から2022年3月31日まで)

公益社団法人 企業市民協議会

1. 事業活動の概況

(1) 国際貢献事業に関する参加協力（定款第4条第1項第1号関係）

① プロジェクト選考委員会の開催（5月7日、3月31日）

理事会より諮問のあった国際貢献事業候補案件を審査し、新たに「ハワイ大学 日本ーハワイ社会経済イノベーションプログラム」、「イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校『With Illinois』キャンペーン」、「パリ日本文化会館における『SDGs 貢献活動』および『日本ブランド向上活動』」の3件を CBCC 国際貢献事業として選定したほか、「中国大学生の訪日視察事業」、「さくら女子中学校プロジェクト」、「グローバルコミュニケーター人材育成プログラム」のプロジェクト認定期間の延長、ならびに「日中交流促進実行委員会・実施事業」の寄附金使途の変更を承認した。

② 認定プロジェクトの推進状況

1989～2021 年度に認定した国際貢献事業計 156 件のうち、以下 6 件に対する企業・個人からの寄附金を送金した。

- ・パリ日本文化会館における国際文化交流および日本語普及事業支援プロジェクト
- ・さくら女子中学校プロジェクト
- ・カンボジアにおける教育支援
- ・Alliance to End Plastic Waste（AEPW）によるプラスチック廃棄物ゼロ活動への参加協力
- ・グローバルコミュニケーター人材育成プログラム
- ・コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所『進化し続ける世界経済システムにおける日本の役割』

(2) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する情報の収集提供（定款第4条第1項第2号関係）

① 機関誌の制作

海外事業活動関連問題の周知および企業市民活動に関する情報の収集提供を図るため、機関誌「Stakeholders（ステークホルダーズ）／CBCC ニュース」

第 90 号を制作した（2022 年 5 月発行）。

② ウェブサイトを通じた情報提供

1998 年度より開設している CBCC ウェブサイト（日英両文）上にて、当会の活動を紹介した。

(3) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関するシンポジウム、セミナー、懇談会等の開催（定款第 4 条第 1 項第 3 号関係）

① シンポジウム、セミナー、懇談会の開催

開催日	会 合 名	上段：講師・来賓、下段：テーマ
5 月 28 日	生物多様性等の保全を通じたサステナビリティ推進に関する懇談会	東梅 貞義 (公財)世界自然保護基金ジャパン (WWF ジャパン) 事務局長
		生物多様性や自然資本等をめぐる国際的な議論の最新動向、生産・消費・金融面から見た企業活動への影響、企業戦略への統合の必要性
11 月 8 日	ドイツ人権デュー・ディリジェンス法に関する懇談会	ミリアム・ヘーフエレ 駐日ドイツ連邦共和国大使館 経済部副部長
		ドイツ人権 DD 法 (2021 年 6 月可決・成立) の概要と今後の展望
1 月 13 日	企業における『人間の安全保障』インデックス(CHSI)に関する懇談会	高橋大祐 真和総合法律事務所パートナー弁護士ほか、同報告書取りまとめメンバー
		CHSI の意義やメソドロジー、事例研究の結果など、CHSI プロジェクト報告書の内容
3 月 1 日	CBCC/BSR セミナー 「DEI (ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン) のグローバル潮流」	アネリーズ・ティム BSR(Business for Social Responsibility) アソシエイト・ディレクター
		DEI に関するグローバルな潮流

3月11日	フランス企業注意義務法に関する懇談会	<p>[A] アンセルム・ミアロン フランス経済財務復興省国庫総局金融経済部金融安定・企業会計・統治課課長補佐（企業統治専門官）</p> <p>[B] バレンタイン・（ネリー）・カン ヴェオリア社 アジア太平洋チーフ・コンプライアンス・オフィサー</p> <p>[A] 2017年に制定されたフランス「企業注意義務法」の概要・浸透状況と、2022年2月に公表されたEUデュー・ディリジェンス指令案との関係</p> <p>[B] 同社における同法への対応</p>
-------	--------------------	--

② 会員交流会の開催

5月28日に開催した懇談会（上記①参照）に続いて、出席者有志による会員交流会をオンラインにて開催し、各社の取り組み事例や悩み、課題などを共有するとともに、率直な意見交換を行った。

③ CBCC 企画部会（3月16日）

2021年度の活動状況について報告するとともに、2022年度の活動方針および活動計画につき意見交換を行った。

(4) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する調査研究 （定款第4条第1項第4号関係）

訪デンマーク・ベルギーCSR対話ミッションの派遣延期

派遣を予定していた訪デンマーク・ベルギーCSR対話ミッション（コペンハーゲン、ブリュッセル）について、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を受けて中止、2022年度以降に延期することとした。

(5) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する内外関係機関等との交流（定款第4条第1項第6号関係）

① BSR との協力

米国の企業会員組織 Business for Social Responsibility（BSR）とアグリーメントを締結し、セミナーの開催等に関し協力を得たほか、ニューズレター（BSR Insight）等を通じてCSRに関する情報提供を受けた。

② サステナビリティ経済導刊（旧 WTO 経済導刊）との協力

2008 年より毎年、中国の CSR 推進組織であるサステナビリティ経済導刊（旧 WTO 経済導刊）が主催する「Golden Bee 国際 CSR フォーラム」を後援するとともに、スピーカーを派遣している。2021 年度には、6 月 9～10 日に同誌が北京で開催した第 16 回国際 CSR フォーラムに関企画部会長がビデオ出演し、講演を行った。

※サステナビリティ経済導刊（旧 WTO 経済導刊）

2002 年に創設された中国商務部が主幹する月刊経済紙。2001 年の WTO 加盟後、中国国内で WTO の規制やルールに対する関心が高まったことを受けて、世界経済が中国経済へ与える影響や世界経済の動向などを国内で広めることを目的としている。

③ CSR ヨーロッパとの協力

ブリュッセルに本部を置く CSR ヨーロッパとの間で、相互に情報提供等を行った。

2. 総会・理事会

(1) 総 会

第 14 回総会（2021 年度定時総会）（6 月 18 日）

会員 74 名の出席（オンラインでの出席および委任状による出席を含む）を得て開催された。二宮会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認された。また、議案審議に先立ち、立石文雄 CBCC 副会長／オムロン取締役会長より、「オムロンの「企業理念経営」～事業を通じたサステナビリティ推進～」と題する講演を聴き、懇談した。

第 1 号議案： 2020 年度事業報告案の承認を求める件

第 2 号議案： 2020 年度財務諸表等案の承認を求める件

第 3 号議案： 理事の退任および補充選任について

(2) 理事会

① 第 35 回理事会（5 月 18 日）

9 名の理事および全監事の出席（オンラインでの出席を含む）を得て開催された。二宮会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認されたほか、業務執行理事による自己の職務執行状況報告等があった。

- 第1号議案：2020年度事業報告案の承認を求める件
- 第2号議案：2020年度財務諸表等案の承認を求める件
- 第3号議案：2021年度定時総会招集の件
- 第4号議案：入会申込みに関する件

② 第36回理事会（6月18日）

2021年度定時総会に引き続き、8名の理事および全監事の出席（オンラインでの出席を含む）を得て開催された。二宮会長が議長となり、以下議案について、異議なく可決・承認された。

- 第1号議案：専務理事・常務理事選任の件
- 第2号議案：入会申込みに関する件

③ 第37回理事会（3月25日）

7名の理事および全監事の出席（オンラインでの出席を含む）を得て開催された。二宮会長が議長となり、以下議案についていずれも異議なく可決・承認されたほか、業務執行理事による自己の職務執行状況報告等があった。

- 第1号議案：2022年度事業計画案の承認を求める件
- 第2号議案：2022年度収支予算案の承認を求める件
- 第3号議案：CBCC国際貢献事業候補案件のプロジェクト選考委員会への諮問の件
- 第4号議案：入会申込みの件

以上